

～KOMOネット通信～

(当会のHP) [HTTP://KODOU1.JIMDO.COM](http://KODOU1.JIMDO.COM)
 (FACEBOOK) <https://facebook.com/京おとくに街おこしネットワーク>

柳谷観音での竹灯りは実施されます
濃紺の夕闇に太陽が沈むと
2500本の竹灯りと当会のパネルが
一斉に暗闇に浮かびあがります。
 ～9月20～25日午後6時～9時新しい観光取り組みです～



京都府のコロナの緊急事態宣言は、9月30日までまた延長されましたが、[JCZ訓]が主催する柳谷観音での「竹灯り」(祈望)は予定通り実施されます。9月20日から25日までの6日間です。いずれも午後6時から9時までの実施で、静かにお彼岸の時期に長岡京名産の竹で作った竹灯りが2500基点灯され、自然と調和し真っ暗な闇の中、星が一段と輝く静かな静かな一時をゆったりとした気持ちで味わってください。

当会はすでに目標の100基の竹灯りは準備完了ですが、更に以前展示した四神絵巻と風神雷神も柳谷の竹灯りに登場します。加えて疫病がはやったら、「アマビエ」を写して人に見せなさい。・・・新型コロナウイルスが感染拡大するなか、江戸時代の妖怪にまつわる言い伝えがインターネットで話題になっているので、その「アマビエ」のパネルも登場します。空気清浄な柳谷の土地で、元気なひと時を過ごしましょう。25日には午後8時40分ごろから、打ち上げ花火が75発打ちあげられます。ご期待ください。



京都新聞は今年度より、洛西版で10年前のその時期の記事を振り返って掲載しています。当会は4/18に2011.4.17の洛西版の里親制度の桜初年から開花との記事が掲載され陽光桜の里親制度を紹介しています。さらに6月20日付け京都新聞では今度は2011.6.17の洛西版に当会の制作した「京都西山古道を歩こうハンドブック」の記事が掲載されました。10年前は次々と新しいことにチャレンジしていたのですね。(6/20京都新聞に掲載の2011.6.17の記事です)

緑の都市賞と手づくり郷土賞(大賞)

申請に対し相次いでヒアリングを受ける

公益財団法人都市緑化機構が募集している「第41回緑の都市賞」に当会は応募しています。応募3部門①緑の市民協働部門②緑の事業協働部門③緑の街づくり部門がありますが、当会は①の市民団体対象の緑化活動で地域の社会や環境へ貢献するものという内容で応募しました。9月7日に柳谷作業所で、都市緑化機構の柳野専務理事、上野企画調査部次長の現地調査を受けました。当方は事務局メンバーで対応。

活動・事業の目的、技術的工夫、環境への配慮、景観向上への取り組み、周辺地域への波及効果、維持管理の状況工夫、等多岐にわたりヒアリングと陽光桜苑等の現場確認を受けました。(10月中旬に結果は発表され通知が来ます)



国土交通省が行っている「手づくり郷土賞」については当会は平成30年度に受賞しています。今回は郷土賞(大賞)への応募です。当時は一般部門で20団体が受賞。

当時は殆どの団体が地方の団体で、都心に近い団体は当会だけでした。受賞団体は殆どが行政や国交省の出先局との打ち合わせで活動を展開しており、行政擁護の社会資本との提携は順調に推移しており、当会のように民間だけの英知で活動に取り組んでいるケースは皆無に近い状況でした。「手づくり郷土賞」は助成金等は一切ありませんが、他の助成金応募にはプラスになりました。今回大阪の近畿地方整備局から「手づくり郷土賞」(大賞にチャレンジしては)との呼びかけがあり資料を作成して応募いたしました。この大賞は「手づくり郷土賞」受賞団体のみがチャレンジできる制度であり、9/7の午後にオンラインでのヒアリングを受け、近畿地方整備局から本省に推薦していただくことになりました。



(11月中旬に選考結果は決定されます)



9月後半の行事予定

- 9月 17日(木) スモークチーズ販売日
- 20日(月) 柳谷作業所作業日
午後竹灯りパネル設定作業
(参加者夕食代補助)
- 20日～25日 柳谷にて竹灯り
18:00～21:00
- 23日(木) 理事会開催 場所:作業所
16:00～17:30
- 25日(土) 竹灯り最終日・後片付け
(参加者夕食代補助)
- 27日(月) 柳谷作業所作業日